

第2回 新穂地区防災円卓会議 ワークショップ

テーマ / 日頃からの備えについて考えよう の主な意見 (意見総数 102件)

個人レベルで備えるべきこと (意見数 37件)

1. 防災を知る、学ぶには！(意見数 18)

【①すぐにごできること、やっしていること】 (意見数 17)

- ・戸別受信機や市民メールから情報を入手する(している)。
- ・テレビ、ラジオで情報を入手している。
- ・ハザードマップを確認する。
- ・市からの情報を隣近所に伝える。
- ・市から具体的な情報をもらえるように要望する(具体的な情報がない)。

【②ごできるだけ早く対策を考るべきこと】 (意見数 1)

- ・市民メールに登録する。

2. 災害に備える！(意見数 19)

【①すぐにごできること、やっしていること】 (意見数 15)

- ・災害時に隣近所と周辺の状況を共有する。
- ・家族間で避難場所や連絡方法を確認しておく。
- ・水やタオル、ライト等を含めた非常持ち出し品をリュックなどに入れて準備しておく。
- ・一週間分の飲み水等の備蓄品を確保する。
- ・防災用の資機材を準備する。(飲料水用ポリタンク、停電時でも使えるラジオ、石油ストーブ、カセットコンロ、発電機等)

【②ごできるだけ早く対策を考るべきこと】 (意見数 4)

- ・缶詰等の食糧等の備蓄品を確保しておく。
- ・非常持ち出し品を揃えておく。



地域レベルで備えるべきこと (意見数 65件)

1. 防災を知る、学ぶには！(意見数 7)

【①すぐにごできること、やっしていること】(意見数 7)

- ・ハザードマップを確認する。
- ・集落の連絡体制の整備や民生委員等との情報共有を行う。
- ・避難勧告時の避難方法を検討して周知する。

2. 災害に備える！(意見数 57)

【①すぐにごできること、やっしていること】(意見数 20)

- ・戸別受信機の全戸への設置を進める。
- ・安全な避難経路を定めて一時避難の安全性を確保する。
- ・自主防災会等の連絡体制を整備する。
- ・自主防災会の体制(人員、任期)を再検討する。
- ・避難勧告発令時に役員が自動的に集まり、すぐに集落の避難場所を設置するようにした。
- ・防災意識高揚と避難場所等の情報を周知するため、講習会を行う。
- ・要配慮者に声掛けを行う。
- ・一人暮らし家庭や空き家等、各世帯の状況のマップを作り活用する。
- ・飲料水用ポリタンク等の防災資機材整備や日用品(トイレトペーパー、電池等)を備蓄する。

【②ごできるだけ早く対策を考るべきこと】(意見数 37)

- ・集落の連絡網を作り、災害時の情報提供を含めた訓練を行う。
- ・自主防災関係補助事業で資機材を揃える。
- ・避難場所の浸水や耐震等の安全性を確認する。
- ・災害廃棄物の収集場所などをあらかじめ定める。
- ・災害種別ごとの避難場所と避難経路を定めて周知し、確認する。
- ・避難場所に水や日用品等の備蓄物資を備える。
- ・生活用水を確保するための井戸を避難所に設置する。
- ・要配慮者の意思確認を行い、災害発生時の支援担当者等を検討して定めておく。
- ・消防署や消防団、市防災担当者等と協力して避難訓練や防災講習会を行う。
- ・防災用屋外スピーカーの数を増やすよう要望する。
- ・河川改修の早期完了と、河川内の危険な立木を除くよう要望する。

3. その他(意見数 1)

【②ごできるだけ早く対策を考るべきこと】(意見数 1)

- ・大規模災害に対する佐渡市の防災計画がない。